

町の課題を知り、みんなで解決策を考えよう

【粗大ごみ収集始まる】

私たちの生活ごみは、できるだけ解体や切断等の自助努力により「燃やせるごみ」や「燃やせないごみ」などに分別して排出することが、新たな「粗大ごみ処理料金」よりも安く、各家庭のごみ袋購入費用の節約にも繋がります。

しかし町では、高齢者の粗大ごみ処理の難しさや、町民生活様式の時代変化などを考慮して、「粗大ごみ」の収集に踏み切りました。

一方で、収集後の粗大ごみの解体や再分別などの処理には、新たな労力と時間と費用も増えることとなります。環境の時代の「快適な生活環境の保持」と「住民負担」の両立の課題をみんなで考える契機にしたいものです。

- 自己決定・自己責任 -

地方分権時代の 問われる自治体 “3つの力”

自治力・財政力・行政力

■ 1回目（10月25日）の収集状況

<収集量>

地区	世帯数	品目	重さ
美国地区	37	80	1,295
美国地区以外	19	42	670
合計	56世帯	122点	1,965 kg

<処理料金>

処理券	枚数(点)	料金
小型(200円)	77	15,400
中型(500円)	35	17,500
大型(800円)	10	8,000
合計	122枚(点)	40,900円

<122点出された粗大ごみの内訳>

・布団類 34点 ・自転車 14点 ・タンス類 11点 ・ソファ類 9点 ・その他(椅子・スノーダンプほか) 54点

■ 収集の問題点(次回からは次のことに注意してください!)

- ①「燃やせないごみ」が出されていました。粗大ごみの収集日は「燃やせないごみ」の収集は行いません。
- ②粗大ごみ処理券を貼っていないものがあり、貼らないと収集できません。
- ③事前予約受付後に収集ルートを決めるため、どこから収集するかは収集日によって異なります。

収集日当日の午前7時30分までに、玄関近くに出していただくよう協力をお願いします。

新たな「粗大ごみ」の排出・収集制度は、町民の皆さんが慣れるまで、様々な不便や困難も予想されますが、円滑な制度の移行にご理解とご協力をお願いします。

<今後の粗大ごみ収集日と申込期間>

収集日	11月8日(金)	11月22日(金)
申込期間	10月28日(月)から 11月5日(火)まで	11月11日(月)から 11月18日(月)まで

※来年度は、4～10月の最終金曜日、月1回を予定しています。



■ 積丹町のごみ処理費用とその財源

<平成29年度実績>

・収入^{※1} 563万6千円 - 支出^{※2} 6,264万2千円
= ▲5,700万6千円(赤字)



<今後の課題と検討>

消費増税など、ごみ処理費用の増大が見込まれるため、指定ごみ袋代(一般廃棄物処理手数料)の見直しも検討していかなければなりません。

※1. 指定ごみ袋売払やクリーンセンター自己搬入分

※2. 燃やせるごみなどの収集業務委託料、クリーンセンター管理費
北しりべし廃棄物処理広域連合負担金 など